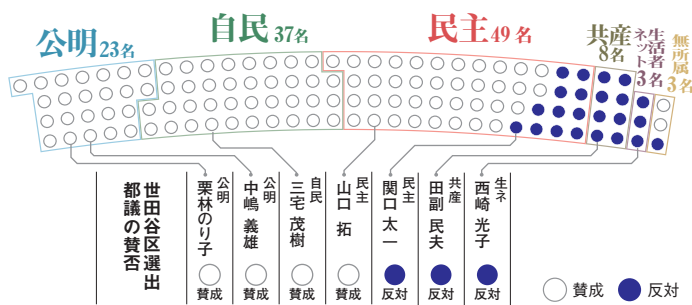




豊洲移転は石原元都知事だけの責任なのか？

都知事は独裁者ではない

都知事は福祉や教育などに
いくらの税金を使うのかを決
めて、予算案として都議会に
提出する権限はある。

しかし、それはあくまでも「案」であって、都議会が予算案の中身を調べて、議論し、最後は多数決をもって、賛否を決める。賛成が多数となれ

ば、「案」が取れて正式な予算となる。仮に反対が多数となれば、知事は予算執行（税金支出）が出来ず、思うような仕事が出来ないことになる。

例えば、石原都知事が「尖閣諸島は都が買う!!」と宣言したことがあった。

全国の賛同者から14億円も

務めていた民主党の花輪智史
都議。

3月11日から遡ること数週間前に、花輪氏が突如行方をくらしました。都議会民主党としては、豊洲移転を止める為には63票の反対票が必要で、1票も失うことは許されない状況であった。

花輪氏はどこにいるのか？

都議会議民民主党は花輪氏と連絡を取る為に花輪氏の実家や同級生に確認するが、消息不明のまま都議会最終日の3月11日を迎えた。13時から始まった都議会本会議。花輪氏は姿を見せないまま、議事は予定

通り進み、いよいよ中央卸売市場会計予算案の採決が迫ってきた。その時、花輪氏が突如、議場に入ってきた。

異様な光景だった。自民党の若手都議2人がまるで人質

事だけの責任なのか？

の寄付金が集まる程、国を巻き込んだ議論となった。結局は都が購入する前に、国が購入することで騒ぎは収束したが、仮に、都が尖閣諸島を購入しようとするれば、もちろん都議会の承認が必要となった。税金であれ、寄付金であれ、都の財布に入ったお金を使う際には、都議会の承認が求められる。

さて、豊洲問題に目を向けよう。石原元都知事に対しては、証人喚問などで責任追及がなされてきた。しかし、築地市場を豊洲に移転させる為には、当然、都のお金を使うこととなり、先述のように都議会の承認が必要不可欠となる。そして、都議会は賛成多数で、賛成票63票、反対票62票で中央卸売市場会計予算案が可決成立。怒号が飛び交う中、都議会本会議は閉会。その1時間後、東日本大震災。都議会で賛成票が上回ったことで、豊洲移転への一歩となった。花輪氏はその後、都議を辞職し、4月に行われた世田谷区長選挙に自民党推薦で立候補。石原都知事と一緒にボスターが世田谷各地に貼りだされた。

反対派と賛成派。その差わずか1議席。この1議席の差が、花輪氏の持つ1票の価値を最大限まで高めたのだ。

区長選挙における自民党推薦との取引に使われたのでしょうか？「都議会のドン」が介在したのでは？、都議会ではまことしやかに囁かれた。

数をもつて承認し続けてきた。

豊洲移転は都議会が賛成多数で承認したからこそ始まった事業である。よって、豊洲移転に賛成票を投じてきた都議会議員の責任追及もなされるべきである。

都議会では豊洲移転をいつ決めたのか？

都議会で平成2年7月の都議選で都議会民主党が第一党に躍進し、豊洲移転ありきではなく築地再整備の可能性など、市場のあり方について様々な議論が交わされてきた。それに応じて、石原都知事も豊洲購入の為の予算執行を凍結

私は一貫して豊洲移転に反対してきました。

平成24年3月29日 豊洲の
土壌汚染対策費を含む予算案
賛成票100 反対票23

翌、平成24年3月29日、都議会では豊洲の土壌汚染対策工事費等(約600億円)を含む中央卸売市場会計予算案の採決が行われた。

関口は主張を変えず、
党の方針に反して、
反対票を投じた。

関口はブレずに反対した。理由は以下の通りだ。「豊洲は市場としては不適格だ。」「汚

染除去にかける費用が莫大過ぎる。」「移転するなら、土壌汚染の心配がない晴海や有明北を検討検討するべきだ。」「豊

洲には市場ではなく、ホテルや劇場やショッピングセンターなどの商業施設を誘致するべきだ。」

ことしやかに囁かれた。

都議会の議決により、豊洲移転に向けて第一歩が踏み出されたものの、豊洲移転の本丸である土壌汚染対策工事については翌年、議論が沸騰す

関口は反対したが、採決の結果は賛成100票、反対23票。豊洲の土壤汚染対策工事が進むこととなった。前年と比較すると賛成票が大幅に増えたが、それは、反対の立場だった

都議会民主、11人が造反

「**築地移転**」**予算案、可決**

都議会は29日に本会議を開き、築地市場（中央区）の江東区豊洲地区への移転関連費用を盛り込んだ2012年度予算案を、民主、自民、公明などの賛成多数で可決した。最大会派の民主は、「土壌汚染対策を着

案に実施することの付帯決議を所管に賛成に転じたが、関係都議の道氏はさらに増え、この日は11人が反対にまわった。

約600億円の市場移転関連費用を盛り込んだ中央卸売市場会計予算など、議案の採決で、民主はこの日、党議拘束をかけた会派の引き離れが図れた。

採決で反対にまわった西沢圭太議員は、市場関係者が合意せず、「豊洲は安全だ」とは権威に説明できない」と主張。関口太

造反した主都議（敬憲）
西原三太郎、岡村一、二世
田代山田重千郎、川口久
栗本善行、宇佐田山陽海房
下井藤文（南郷）、大塚勝
博（足立）、滝口孝、荒川、
野矢、上ノ宮松平、武蔵
堀ノ柳、瀬谷文（六田）

一議員は、「都議選では『移転反対』を訴えて当選させてもらった」として、公約を重視したと説明した。

民主の山下太郎幹事長は、「ギリギリまで説得を続けたが、残念ながらこう

都議会定29日、大規模横火害時に民家の帰宅抑制を求める宅用難者対策条例案など「7ヶ条議案」を可決し閉会した。民主などは議員提した「がん対策推進条例案は否決された。

豊洲を市場として開場させる為には、以下の条件をクリアする必要がある。

条件1 土壌汚染が環境基準以下	条件2 ランニングコスト(年間100億円の赤字?)の問題が解決し、収支が成り立つ。
------------------------	--

クリアされない場合の豊洲活用策
(※この場合、築地は再整備もしくは豊洲以外の代替地の検討)

活用1 売却やリースによる民間活用	活用2 手狭なビックサイトに代わるイベント会場や国際展示会場として活用
--------------------------	--

豊洲移転へ第一歩を刻んだ日、平成23年3月11日

翌年の3月11日。都議会では平成23年度予算案を採決する最終日を迎える。最大の懸案は、豊洲新市場の設計費等(約21億円)を含む中央卸売市場会計予算案の賛否。

当時の都議会は、豊洲移転推進派の自民党と公明党で62議席、豊洲移転に反対派の都議会民主党や共産党などが63議席とその差はわずか1議席の状況であった。

当時、都議会第一党であった

買って豊洲できました

出された。

豊洲移転予算案が都議会に提出された。

た都議会議民民主党は、石原都知事が提出した中央卸売市場会計予算案から豊洲移転関連部分を除いた予算修正案を提出しており、3日前の3月8日に行われた都議会予算特別委員会では、知事提出の予算案には反対の立場を表明。そして、都議会の最終意思決定である3月11日の本会議を迎えた。

自民公明62議席対
民主など63議席
1議席の攻防、そして、
前代未聞の寝返りへ

豊州移転反対派が賛成派を1票上回るといわずかな差がある都議会議員の都政史上前代未聞の裏切り行為を引き起こすこととなった。当時、※築地市場の移転・再整備に関する特別委員会の委員長を

関口の目指す東京
「コンクリート
からヒトへ」

この4年間の都議会は、まさにコンクリート、コンクリート、コンクリートだった。オリンピックコストは跳ね上がり、豊洲移転費用も膨らんだ。関口は言う。「ビトへの投資を優先したい。低所得者や子育て世帯への家賃補助、介護職員の処遇改善、小中学校給食費無償化などにチャレンジしたい。」

コンクリートからビトへ。関口の挑戦は続く。

※入札参加企業はいずれの工事もほぼ1社(1グループ)独占。落札率は同時期の公共事業に比べて約10%程、割高。東光電気工事株式会社の監査役は自民党都議会議員の内田茂氏。

※この特別委員会は 2009 年の都議選で都議会第一党に躍進した都議会民主党が豊洲移転ありきではなく築地再整備の可能性を探る為に作った特別委員会

H26.2.14 豊洲新市場施設建設工事入札結果			
工事名	落札価格	落札率	落札企業
5街区(青果棟)	259.35 億円	99.9%	鹿島建設 (JV 筆頭)
6街区 (水産仲卸売棟)	435.54 億円	99.8%	清水建設 (JV 筆頭)
7街区 (水産卸売棟)	339.15 億円	99.7%	大成建設 (JV 筆頭)
H25.12.16 豊洲新市場電気設備工事入札結果			
工事名	落札価格	落札率	落札企業
管理施設棟	39.795 億円	93.5%	東光電気工事(株) (JV筆頭、監査役 内田茂)※
H23.8.30 豊洲新市場の土壌汚染対策工事入札結果			
工事名	落札価格	落札率	落札企業
5街区(青果棟)	119.175 億円	93.9%	鹿島建設 (JV 筆頭)
6街区 (水産仲卸売棟)	333.4275 億円	97.0%	清水建設 (JV 筆頭)
7街区 (水産卸売棟)	89.145 億円	94.7%	大成建設 (JV 筆頭)

世田谷の改革を東京都政でも

昇

古い政治、今こそ変えねば

対談

世田谷区長
保坂展人
前東京都議会議員
関口太一

関口 保坂区長が就任して早くも6年になりますが、私が区議会にいた頃と比べると様々な変化があると感じています。特に私のテーマでもある行政改革については情報公開という点で随分と進みました。

保坂 はい。国会議員の時代から情報公開はテーマでしたので、世田谷区長になってからは、庁議事資料の公開や区長へのメールを開設するなどをすばやく取り組みました。

関口 民進党区議団の仲間たちからも話を聞いていますが、改革を断行する際には、抵抗も強いようですね。東京都政などは、情報公開請求をして「のり弁」であったりして、役人と都議会の自民公明が一体となって行政改革に取り組まない体質だと感じました。都知事も小池さんに変わり、情報公開には前向きですから、私は都議会でもこれに取り組んで行きたいと思っています。

保坂 関口さんがこれまでの硬直化した都政に風穴をあけることを期待しています。

土建政治を見直すべきだ

関口 私は税金の無駄遣いを許さない、というスタンスで区議会・都議会にて取り組んできましたが、保坂区長は土木予算の抑制や学校改築予算の削減にも取り組みましたね。

保坂 学校の建て替えとなると平均30億円の予算が必要でしたが、深沢中学校では一部リノベーションすることで6.7億の削減効果がありました。また、数億円もかけて建設するプレハブ校舎設置も極力行わないなどに取り組んでいます。

関口 プレハブ事業者から悲鳴が聞こえてきそうですが、公共工事は大きなお金が動きますから、利権も見え隠れします。都政でもたくさん



公共工事が行われているが、豊洲問題はいつの間にか予算が膨れ上がり、オリンピック予算も跳ね上がりました。これを承認したのは都議会ですが、財源は税金ですから、本来は議員がこれをしっかり監視せねばなりません。

学びと暮らしの支援を

保坂 無駄遣いを削減する一方で、必要なのに予算を投じていくことが必要であり、福祉・教

育の予算を大幅に増やしました。

関口 前区長の時代と比較して、子ども関連予算が10年前の2倍になっているのを知り驚きました。私もすべての子どもたちが安心して暮らせる、そして学べる環境を整備することが政治の役割だと考え、都議会議員時代には病院内で生活している子どもたちの教育（院内学級）の拡充に注力しました。今回の公約では、小中学校の給食費無償化を掲げています。

保坂 給食費の無償化は区議会でも提言がありましたが、より多くの児童生徒を支援するためにも、是非東京都として取り組んで頂きたいので関口さんに期待します。世田谷区では現在、児童相談所の区への移管に着手していますが、東京都の関係所管はまだ積極的ではない状態です。このあたりも推進を促す都議会議員が必要です。

関口 子育て支援や教育の最前線は市区町村ですが、児童相談所は東京都の管轄ということで、様々な問題が起こっていることを私も問題視していました。

私が都議会に復帰できたなら、都から区への移管に間違いなく取り組んで参ります。

保坂 やはり関口さんには都議会でも活躍してもらわねばなりませんね。

脱原発を東京全体で

関口 保坂区長といえば、3・11が生んだ区長と言われていますが、都議会の混乱も関係しました。しかし、保坂さんが区長になる前から取り組

5月24日 関口太一前都議会議員 決起集会

去る5月24日、関口太一前都議会議員は決起集会を開催し、関口氏の母校である同志社大学の浜矩子教授による時局講演が行われた。浜教授は「アベノミクス」を「ド・アホノミクス」と批判し、施政方針演説にて「世界の真ん中で輝く国づくり」を目指すとした安倍総理を、強権的な帝国づくりにひたはしる、誇大妄想と幼児的強暴性のある人物であると断じた。

一貫して自民党と対峙してきた 連舫代表も都議会復帰のメール

この日は民進党の連舫代表も応援に駆けつけ、14年来の付き合いとなる関口氏に対して「党代表という立場上私情を交えてはいけませんが、最も都議会でも活躍してほしい人物だ」とエールを送った。



会場には二百五十人ほどの支援者が集い、手塚・落合両総支部長、民進党世田谷区議団5名全員に加え、全国から民進党青年局の議員が応援に駆けつけていました。集会の最後に関口氏から「私は一貫して豊洲移転に反対してきました。民主党時代からブレずにこの政党一筋で、自民党に対峙してきました。何としてでも都議会に復帰し、問題だらけの政治を変えていきます」との決意表明があった。

んできた脱原発について、やはり東日本大震災を経験した私たちとしては、クリーンエネルギーへの転換をもっと本気で取り組んでいかねばならないと考えています。

保坂 はい。私は区長就任後、世田谷区で取り組むことができるエネルギーシフトに着手してきました。区の遊休地を活用した「世田谷区みうら太陽光発電所」を整備し、区役所施設への新電力（PPS）導入により、年間約2.5億円の電気代削減などを果たしました。先日は長野県の水

力発電所の電気を区立保育園41園で使う契約をしました。東京都はエネルギーの一大消費地ですから、東京都全体で脱原発に取り組む影響は相対的に大きなものと考えます。

関口 自公政権が続く、脱原発が後退している状況下、私たち都民の力で脱原発世田谷モデルを東京都政に取り入れていくべきと考えます。保坂区長、是非お力添え下さい。

保坂 はい、喜んで。私も関口さんが都議会に復帰できるよう応援します。



同志社大学大学院教授 浜矩子氏講演の様子

東京都議会議員選挙（世田谷選挙区）で 関口太一氏を公認候補に決定しました。

関口太一氏
プロフィール

41歳。同志社大学法学部卒。民間企業を経て、27歳の時に民主党公認で世田谷区議会議員選挙に挑戦し、最年少当選を果たす。33歳で東京都議会議員。豊洲移転には、一貫して反対票を投じた。平成25年、都議会2期目に挑戦するも落選。捲土重来を期す。

関口太一事務所 〒154-0017 東京都世田谷区世田谷1-18-13

@SekiguchiTaichi www.taichi-net.jp

号外

2016年
6月13日

民進党 民進プレス編集部

〒100-0014

東京都千代田区永田町1-11-1

電話 03-3595-9988(代表)

メール press@minshin.or.jp

URL https://www.minshin.or.jp/